

新保安装置は 不安装置？

1月11日、在来線でATS-P Tが導入されました。
運転士の皆さん、不安はありませんか？

- ・ 要注意停止目標での10キロ未満での発車
- ・ 扱いを誤ってブレーキ動作で日勤
- ・ ATS切替スイッチで確認失念「S位置」での走行
- ・ ATS切替スイッチが確認しづらい「383系」列車
- ・ 入換で、ATS-P解放スイッチの解放・定位に復する作業
- ・ 行き止まり線での「パターン接近」点灯・鳴動
- ・ 異常時の取り扱いがケースにより違い複雑である
- ・ 他会社車両との違い

等々、いろいろな意見を聞きます。

机上で複雑に考えたATS-P T装置は、ハンドルを握る運転士にわかりやすく、扱いやすくしなければ何の意味もありません。

運転士は、日夜、安全・安定輸送業務に向けて頑張っています。

運転士は、ATS-P T導入により新たな負担を強いられています。

私たちJR東海労名古屋運輸区分会は、P Tに対して新たな負担軽減と不安解消に向けて取り組んでいきます。黙っては何も変わりません。

働きやすい職場にするために声を出しましょう。どうしたらよいか考えましょう。

JR東海労名古屋運輸区分会は、問題改善に向けて取り組みます。